

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

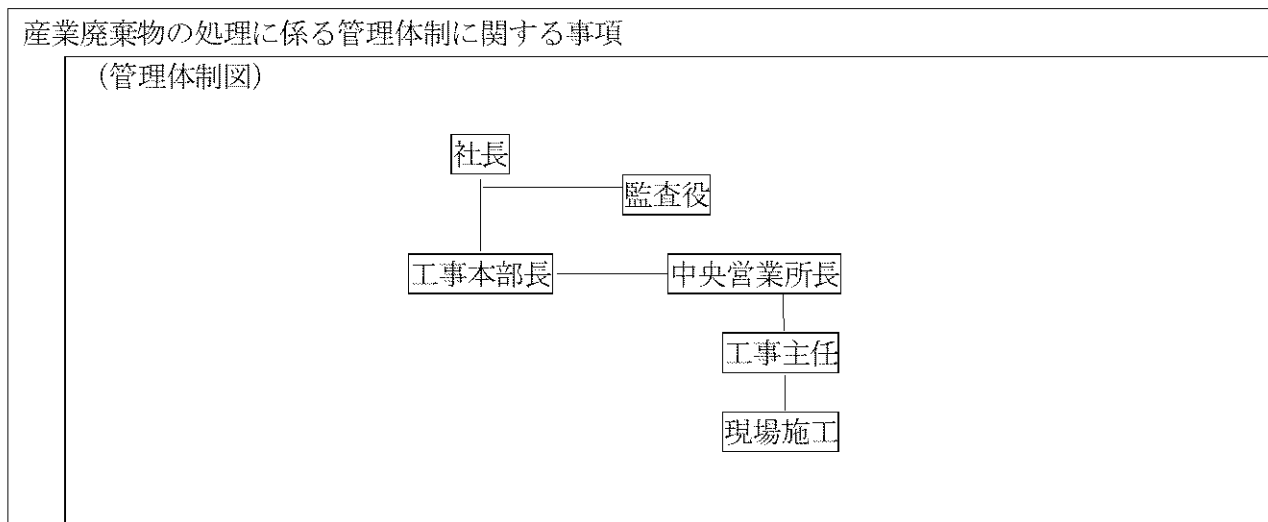
令和5年6月16日

佐世保市長 宮島 大典 殿

提出者 西部道路株式会社
住 所 長崎県佐世保市福石町4番19号
氏 名 代表取締役 本岡 眞
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0956-32-2188

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西部道路株式会社 中央営業所
事業場の所在地	長崎県佐世保市勝海町305-4
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	工事出来高 799百万円
③ 従業員数	31名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場→掘削積込→(収集運搬)→中間処理



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1参照方	
	排出量	別表1参照方	
	(これまでに実施した取組) ・工事本部内の安全衛生会議、工程会議において横断的な協力体制を維持継続した。(毎月実施)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表1参照方	
	排出量	別表1参照方	
	(今後実施する予定の取組) ・施工計画段階において、産業廃棄物に関する発注者の指示事項、施工現場の条件、近隣住民の要望を加味し、無理・無駄・ムラの無い計画を策定する。 ・発注者との協議で、極力産業廃棄物の再生利用を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現場での産業廃棄物の分別を徹底する。 ・現場搬出時に産業廃棄物の混載をしない。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・従来どおり職場内の整理整頓に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1参照方	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別表1参照方	
	(これまでに実施した取組) ・発注者の設計に準じて、がれき類の再生利用指示を遵守する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表1参照方	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別表1参照方	
	(今後実施する予定の取組) ・発注者と協議し、極力再生利用を図る。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1参照方	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別表1参照方	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別表1参照方	
(これまでに実施した取組) ・該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表1参照方	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別表1参照方	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別表1参照方	
(今後実施する予定の取組) ・該当予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1参照方	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別表1参照方	
	(これまでに実施した取組) ・該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表1参照方	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別表1参照方	
	(今後実施する予定の取組) ・該当予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1参照方	
	全処理委託量	別表1参照方	
	優良認定処理業者への処理委託量	別表1参照方	
	再生利用業者への処理委託量	別表1参照方	
	認定熱回収業者への処理委託量	別表1参照方	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別表1参照方	
	(これまでに実施した取組) ・発注者の指示に従い産業廃棄物の処理委託をするが、施工場所によっては自社処分場、関連企業の処分場を利用し、再生材の利用も極力自社グループを利用し、発生させた産業廃棄物の自己使用率を出来るだけ向上させた。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表1参照方	
	全処理委託量	別表1参照方	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別表1参照方	
	再生利用業者への 処理委託量	別表1参照方	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別表1参照方	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別表1参照方	
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発注者の指示に従い産業廃棄物の処理委託をするが、施工場所によっては自社処分場、関連企業の処分場を利用し、再生材の利用も極力自社グループを利用し、発生させた産業廃棄物の自己使用率を出来るだけ向上させるよう努める。 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別表1のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別表1を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別表1のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別表1を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

